

令和5年度 第1回  
栃木西部地域会議会議録

令和5年4月18日(火)  
栃木市吹上公民館 大交流室

栃木西部地域まちづくりセンター

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回栃木西部地域会議
開催日時	令和5年4月18日(火) 19時00分 開会 20時54分 閉会
開催場所	吹上公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p><b>1 開会</b></p> <p style="text-align: center;">— 開会 —</p>
市長	<p><b>2 委嘱状交付</b></p> <p style="text-align: center;">— 大川市長より各委員に委嘱状を交付 —</p> <p style="text-align: center;">— 大川市長あいさつ —</p>
地域振興部長 事務局	<p><b>3 委員及び職員紹介</b></p> <p style="text-align: center;">— 地域振興部長あいさつ —</p> <p style="text-align: center;">— 事務局職員紹介 —</p> <p style="text-align: center;">〈市長、地域振興部長 所用のため退席〉</p>
事務局	<p><b>4 会長及び副会長選出</b></p> <p>「会長、副会長は、委員の互選により定める」と「栃木市地域づくり推進条例」の第8条に規定されているが、どのような方法で選出したらよろしいか。</p>
委員A	<p>会長は長く任期を全うされている方が諸事情も分かっており良いと思う。</p> <p>副会長は従来通り、会長以外の地域から選ぶのが良いと思う。</p>
事務局	<p>会長を吹上地域の酒巻委員、副会長を皆川地域の中島委員、寺尾地域の峰岸委員とする事務局案を提示。</p> <p style="text-align: center;">〈一同異議なし〉</p>
事務局	<p><b>酒巻委員を栃木西部地域会議会長、中島委員、峰岸委員を副会長とすることに決定</b>する。</p>

## 5 地域未来ビジョンについて

<説明>

事務局

- ・ 昨年9月から協議し、市内8地域で作成したビジョンをひとまとめにして、先月3月に策定したもの。
- ・ 各地域会議において、地域の魅力・課題の洗い出し、地域の将来の姿を検討し、地域の10年先の明るい未来を実現するためのまちづくりの指針。
- ・ I. 地域の概要、II. 地域の魅力・課題、III. 未来の姿、IV. 事業イメージの4段構成。
- ・ 各地域の魅力や課題を共有することで、10年後の目指すべき姿が明確となり、地域住民と市がまちづくりに対して、共通認識を持つことに繋がる。
- ・ 地域予算提案事業制度における方向性の道しるべとすることができ、委員の入れ替えがあった場合にも、ぶれることなく一貫性のある提案ができる。

— 資料1に基づいて説明 —

副会長A

地域未来ビジョンを市民はどこで見ることができるのか。

事務局

栃木市のホームページに掲載しているので、そこから見る事ができる。

## 6 議事

### (1) 地域会議（栃木市の地域自治制度）について

<説明>

事務局

- ・ 栃木市の地域自治制度は、2015年4月からはじまり、地域の活性化、市民協働のまちづくりの充実のため、「栃木市地域づくり推進条例」により、地域の活動を応援していくもの。
- ・ 栃木西部地域は、吹上地区、皆川地区、寺尾地区の3地区にて構成されており、地域内の各種団体から推薦された方、地域づくりの有識者、公募で選ばれた方の15名で構成される住民代表組織である。
- ・ 具体的な役割は「意見聴取に対する回答」と「地域予算の提案」の大きく2つ。
- ・ 地域予算提案事業は、令和6年度、令和7年度に実施する事業として総額で約576万円が割り当てられている。
- ・ 事業の提案は毎年10月に行なうため、9月の地域会議の時点で事業を確定させる必要がある。昨年までは、5月から7月の3か月間の実質3回の会議で地域課題を抽出し、解決に繋がる具体的な事業を検討、決定というスケジュールであった。このスケジュールでは、毎年、課題解決に繋がる事業を提案できるというメリットがある反面、課題解決のために何ができるのか議論する時間が短すぎるというデメリットを抱えている。
- ・ そこで事務局提案として、2年間かけて地域の課題を解決するスケジュール

	<p>ルを提案する。最初の半年間で地域課題の調査、次の半年で課題の解決方法の研究、年度が替わるころに具体的な事業の検討、2年目の10月に事業を提案するスケジュールである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮にこのスケジュールにおいて運用したとしても、継続事業や緊急事業は今年10月に提案することができる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料2～資料2-5に基づいて説明 —</p>
会長	<p>本日は具体的な地域課題を聞くことは考えていない。継続するものや緊急性のあるものについては、この秋に提案するが、地域の課題などじっくり取り組むべきものについては、次の会議から1年半かけて皆さんと取り組んでいこうという事務局の説明を聞くものである。</p>
委員B	<p>地域会議という名前が浸透していないと感じる。市民にはなじみのない言葉であるため、もう少し地域に浸透する方法を取るのが先だと思っている。</p> <p>また、会議の中身が濃すぎて難しい。事務局が苦勞しているのが分かるが、かえって分かりづらくなっている。新しく入った委員もおおり、歩調を合わせて進んでいけるよう、2年間かけてゆっくり討論し合っていけると良いと思う。</p>
会長	<p>名前が浸透していないことも地域課題と捉えることができる。じっくり取り組んでいきたいと思う。</p>
委員C	<p>西部地域会議の日程で、8月と12月と1月の開催がないのは、なにか理由があるのか。開催する回数が少ないので意見を出して話し合いをする時間が足りない。予算を使って3地域が納得する事業をするためには、年間12カ月（12回）開催したほうがより一層、意見が出るのではないかと思う。</p>
事務局	<p>なぜ9回しか開催しないのかという点は、各地域に予算として割り当てられているのが9回分であるため。事務局はどの時期に9回開催するかを考えていかなければいけない。8月はお盆が重なるという理由、12月と1月は比較的議事の内容が少ないと見込まれるという理由で会議を開催しない月としている。</p> <p>ただし、回数の制限はあるが、日程表通りに開催しなければならないということではない。議事の多少により、開催時期を調整することは可能。皆さんの要望に応じて融通を利かせていきたいと考えている。</p>
委員C	<p>10月に事業の提案をする日程であり、12月以降に議事が少ないことが見込まれるのであれば、前半にまとめて開催することもできるのか。</p>
事務局	<p>可能である。今日は説明だけで議論がスタートしていないので、今後、状況を見極め、要望や必要性があれば考えていきたいと思っている。</p>

副会長A	<p>1年で事業を考えて計画して提案するという考えで進めているが、2年かけて考えることになれば、情報を集めるところからできるので、上手く回っていくと思う。確かに1年ごとに考える日程だと、提案ありきになってしまうので、課題を見つけられるかという点で難しいと思う。</p>
会長	<p>私は事務局の提案を受けた方がいいと感じている。継続的な事業や緊急性のある事業は今秋に提案するが、じっくり取り組みたいものは来秋に提案するやり方をお受けしたい。皆様の了解をいただければと思うがいかがか。</p>
委員D	<p>今まで1年ずつ事業を提案するやり方でやってきたと思うが、西部地域の予算提案がメインである中、その他議案の審議もある。2年かけてのスケジュールだと、その他議案の審議がなくなっている。</p> <p>委員をしてきて、その他議案の審議の内容が特に難しいと感じている。防災や計画に関する資料に対する意見をくださいと言われても難しい。その他議案の審議は西部地域にとって本当に審議しなければいけない議案だったのか。</p> <p>今日、2年かけて地域予算の事業を提案するという話を聞いて、地域課題の調査、解決方法の研究、具体的な事業ということで、その他の議案の審議がなくなっている。西部地域の予算を使うにあたっては、2年かけてやることのメリットはかなり大きいと思う。</p>
事務局	<p>西部地域会議は地域の団体の代表者の方が集まっている場であり、市の現課から皆様にご説明をしたいという意向があつて行なうものが、その他議案の審議にあたるものである。この部分は今後も出てくるものであるので、どうしても議題として挙げさせていただくことになるが、ご了承いただきたい。</p>
委員E	<p>委嘱状の中の「部会 日額1,000円」の記載があるが、これはどういうものを指すのか。</p>
事務局	<p>確認をして次回の会議においてご説明する。</p>
委員B	<p>地域会議の日程は他の地域の地域会議も年9回なのか。</p>
事務局	<p>年9回である。開催時期は地域によって若干異なる。</p>
委員B	<p>先ほどの話にもあつたが、年3回の空きがあるため、議論が急ぎになり、良く分からない難しい会議になってしまった部分があるかもしれない。</p>
会長	<p>開催スケジュールに関しては柔軟に変更することが可能であるということなのでご理解をいただきたい。部会の扱いは次回の会議で説明して欲しい。</p> <p>今の議事は地域予算の取り扱いについて、事務局説明のとおり、地域課題については2年かけてじっくり取り組んでいっていいかということである。</p>

<p>会長</p>	<p style="text-align: center;">〈一同異議なし〉</p> <p>事務局提案が受け入れられたということで、そのように進める。</p>										
<p>委員 A</p>	<p><b>(2) 各種委員の推薦について</b></p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置目的に応じた市民の幅広い意見もしくは専門的な意見を反映するために、審議会・委員会を設置しており、栃木西部地域会議から「栃木市市民会議委員」、「子ども・子育て委員」、「栃木市文化振興計画推進懇談会」、「上下水道事業調査委員会委員」の4つの委員をお願いしている。</li> <li>・全ての委員について、令和5年度も継続、もしくは新たな委員推薦の依頼があったため、お諮りするもの。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料3に基づいて説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議の結果、以下のとおり推薦することとする。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="403 869 1388 1310"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">審議会</th> <th style="text-align: center;">推薦委員 (地域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           栃木市市民会議委員            任期：～R7. 3. 31         </td> <td>           酒巻 幸夫 会長 (吹上地域)         </td> </tr> <tr> <td>           子ども・子育て会議委員            任期：～R5. 9. 30         </td> <td>           鈴木 加織 委員 (皆川地域)         </td> </tr> <tr> <td>           栃木市文化振興計画推進懇談会            任期：～R7. 3. 31         </td> <td>           中島 元一 副会長 (皆川地域)         </td> </tr> <tr> <td>           上下水道事業調査委員会委員            任期：～R5. 11. 4 (継続中)         </td> <td>           門沢 イミ子 委員 (寺尾地域)         </td> </tr> </tbody> </table>	審議会	推薦委員 (地域)	栃木市市民会議委員 任期：～R7. 3. 31	酒巻 幸夫 会長 (吹上地域)	子ども・子育て会議委員 任期：～R5. 9. 30	鈴木 加織 委員 (皆川地域)	栃木市文化振興計画推進懇談会 任期：～R7. 3. 31	中島 元一 副会長 (皆川地域)	上下水道事業調査委員会委員 任期：～R5. 11. 4 (継続中)	門沢 イミ子 委員 (寺尾地域)
審議会	推薦委員 (地域)										
栃木市市民会議委員 任期：～R7. 3. 31	酒巻 幸夫 会長 (吹上地域)										
子ども・子育て会議委員 任期：～R5. 9. 30	鈴木 加織 委員 (皆川地域)										
栃木市文化振興計画推進懇談会 任期：～R7. 3. 31	中島 元一 副会長 (皆川地域)										
上下水道事業調査委員会委員 任期：～R5. 11. 4 (継続中)	門沢 イミ子 委員 (寺尾地域)										
<p>事務局</p>	<p><b>7 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>栃木西部地域会議だより 第16号の発行について</b>            年2回発行。次号の内容は委員紹介と令和5年度の事業計画等を予定。            委員紹介の際、掲載する文章の提出を第2回の会議の時に提出いただきたい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料4に基づき説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>令和5年度地域西部地域会議開催予定について</b></li> </ul> <p style="text-align: center;">— 資料5に基づき説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>第3期栃木市教育計画の送付について</b></li> <li>・<b>第2回栃木西部地域会議について</b>            令和5年5月16日(火) 19時から 寺尾公民館にて開催予定</li> </ul>										

5 閉会

—— 以上、何も無いことを確認 ——

—— 閉会 ——

(会議終了時刻 20時54分)

別紙1 出席者及び事務局

<出席者（委員）>

会 長	酒巻 幸夫	副会長	峰岸 晃一
副会長	中島 元一	委 員	宇佐見 まり子
委 員	厚木 秀夫	委 員	毛塚 豊子
委 員	門沢 イミ子	委 員	石沢 恵一
委 員	小池 祐也	委 員	鈴木 加織
委 員	正田 秀雄	委 員	棚橋 利行
委 員	関口 みよ子		
委 員	吉田 美奈子		

<欠席者（委員）>

な し

<事務局>

金子 博文	（皆川公民館館長）
佐藤 光三	（寺尾公民館館長）
石沢 竜次	（吹上公民館主任）

<その他出席者等>

大川 秀子	（栃木市長）
石川 交子	（地域振興部長）



## 別紙2 会議事項及び配付資料一覧

### <会議事項>

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び職員紹介
- 4 会長及び副会長選出
- 5 地域未来ビジョンについて 資料1
- 6 議 事
  - (1) 地域会議（栃木市の地域自治制度）について 資料2 ～ 資料2-5  
(令和6・7年度実施 地域予算提案事業案について)
  - (2) 各種委員の推薦について 資料3
- 7 その他
  - ・ 栃木西部地域会議だより第16号の発行について 資料4
  - ・ 令和5年度栃木西部地域会議開催予定について 資料5
  - ・ 第3期栃木市教育計画の送付について
- 8 閉 会

※ 開会前に各委員の個人写真撮影を実施した。（地域会議だより掲載用）

### <配布資料一覧>

- ・ 栃木西部地域会議委員名簿
- ・ 栃木市地域未来ビジョン 資料1
- ・ 栃木市の地域自治制度～地域会議のあらまし～ 資料2-1
- ・ 令和6・7年度実施分の地域予算の提案限度額について 資料2-2
- ・ 令和6・7年度の地域予算について 資料2-3
- ・ 栃木西部地域会議 地域予算事業の実施実績（一覧表） 資料2-4
- ・ 地域予算提案事業計画書にかかる予算措置の結果について 資料2-5
- ・ 各種審議委員の推薦について 資料3
- ・ 地域会議だより掲載用一言のご提出依頼について 資料4
- ・ 令和5年度栃木西部地域会議開催日程 資料5
- ・ 第3期栃木市教育計画の送付について